

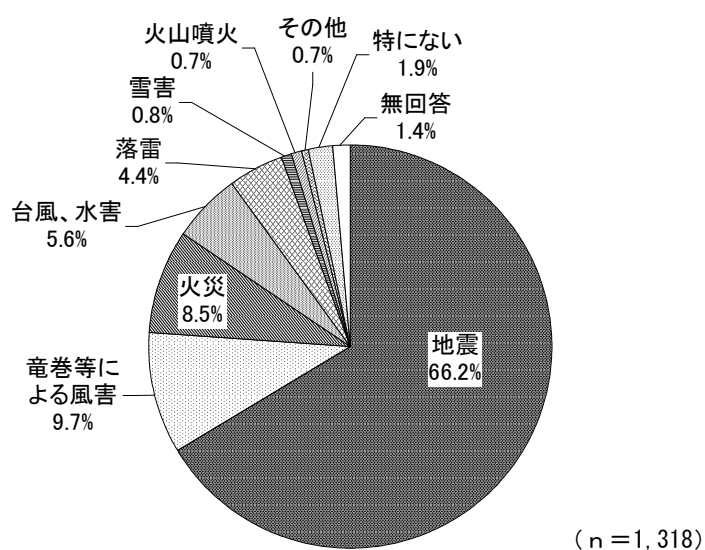
8 地域防災について

(1) 日頃最も不安に思う災害

問23 あなたが、日頃最も不安に思う災害はどのようなものですか。
次の中から1つ選んでください。

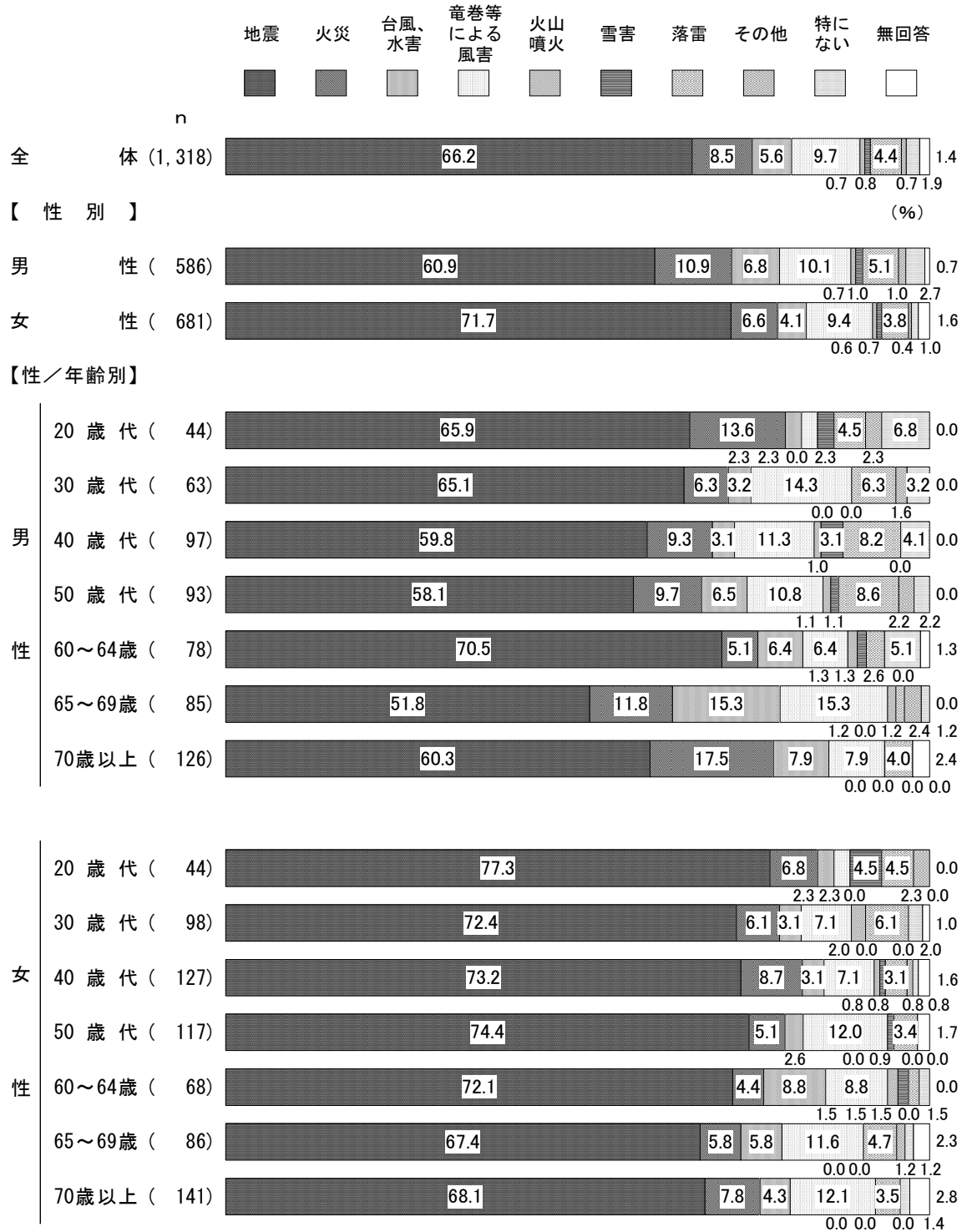
[n=1,318]

1	地震	66.2%	4	竜巻等による風害	9.7%	7	落雷	4.4%
2	火災	8.5%	5	火山噴火	0.7%	8	その他	0.7%
3	台風、水害	5.6%	6	雪害	0.8%	9	特にない	1.9%
							(無回答)	1.4%



全体で見ると、「地震」(66.2%)が6割半ばで最も高く、次いで「竜巻等による風害」(9.7%)、「火災」(8.5%)、「台風、水害」(5.6%)、「落雷」(4.4%)の順となっている。

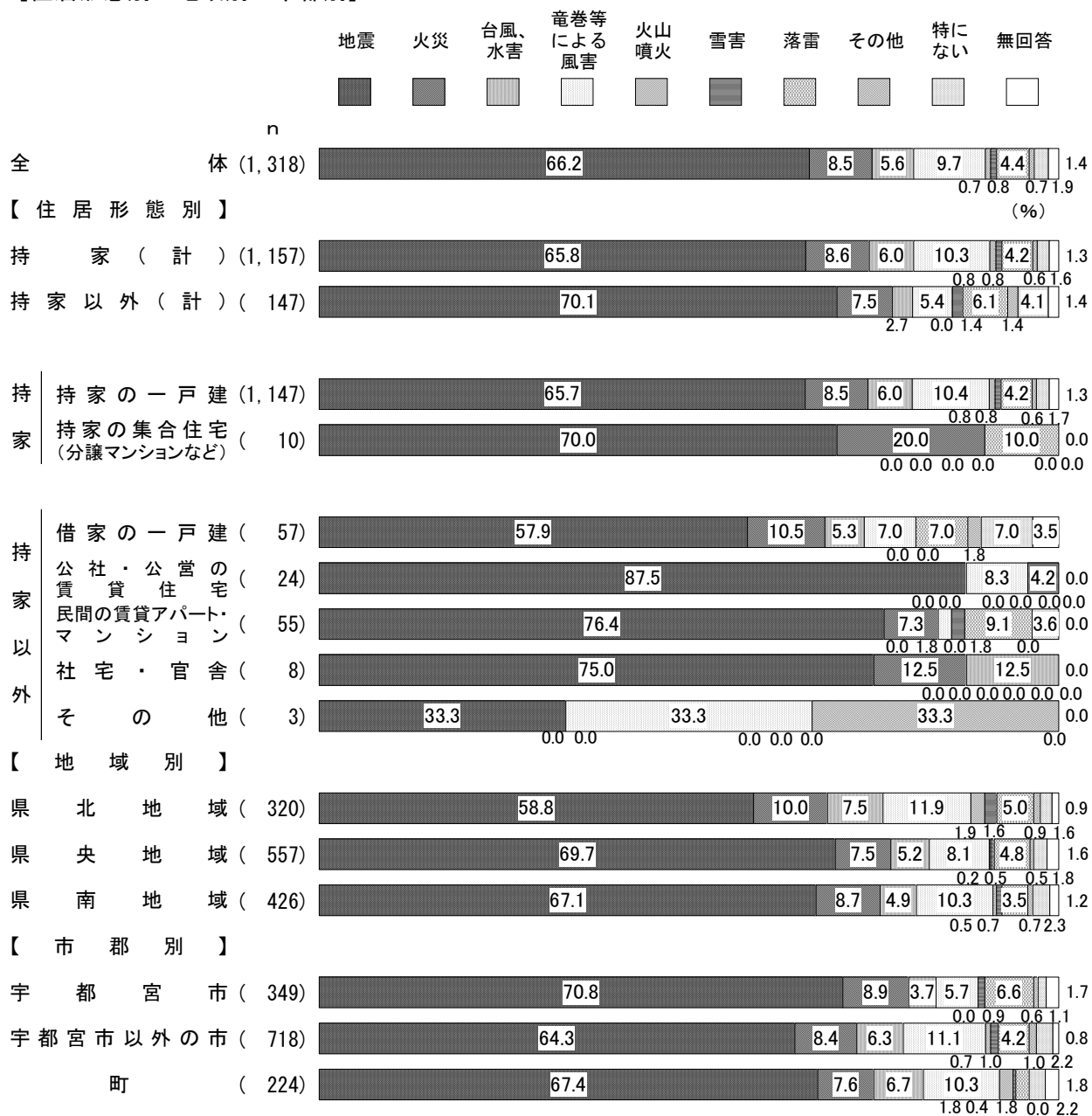
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「地震」では〈女性〉(71.7%)が〈男性〉(60.9%)より10.8ポイント高くなっている。「火災」では〈男性〉(10.9%)が〈女性〉(6.6%)より4.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「地震」では〈女性20歳代〉が77.3%と高くなっている。「火災」では〈男性70歳以上〉が17.5%、〈男性20歳代〉が13.6%と高くなっている。「台風、水害」では〈男性65~69歳〉が15.3%と高くなっている。「竜巻等による風害」では〈男性65~69歳〉が15.3%、〈男性30歳代〉が14.3%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市郡別]



住居形態別で見ると、「地震」では〈持家以外 (計)〉(70.1%)が〈持家 (計)〉(65.8%)より4.3ポイント高くなっている。「竜巻等による風害」では〈持家 (計)〉(10.3%)が〈持家以外 (計)〉(5.4%)より4.9ポイント高くなっている。

地域別で見ると、「地震」では〈県央地域〉が69.7%と高くなっている。

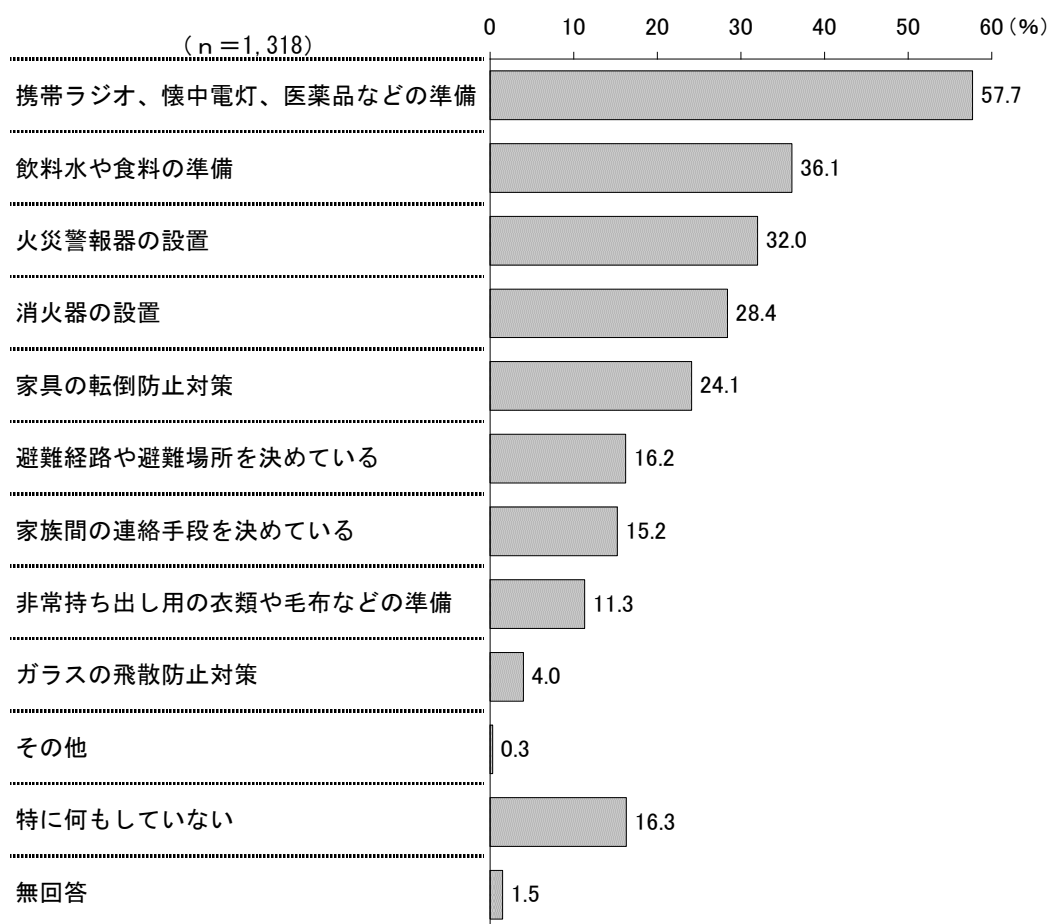
市郡別で見ると、「地震」では〈宇都宮市〉が70.8%と高くなっている。「竜巻等による風害」では〈宇都宮市以外の市〉が11.1%、〈町〉が10.3%となっており、〈宇都宮市〉(5.7%)と比べて高くなっている。

(2) 地震に対する備え

問24 あなたの家庭では、地震に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつかでも選んでください。

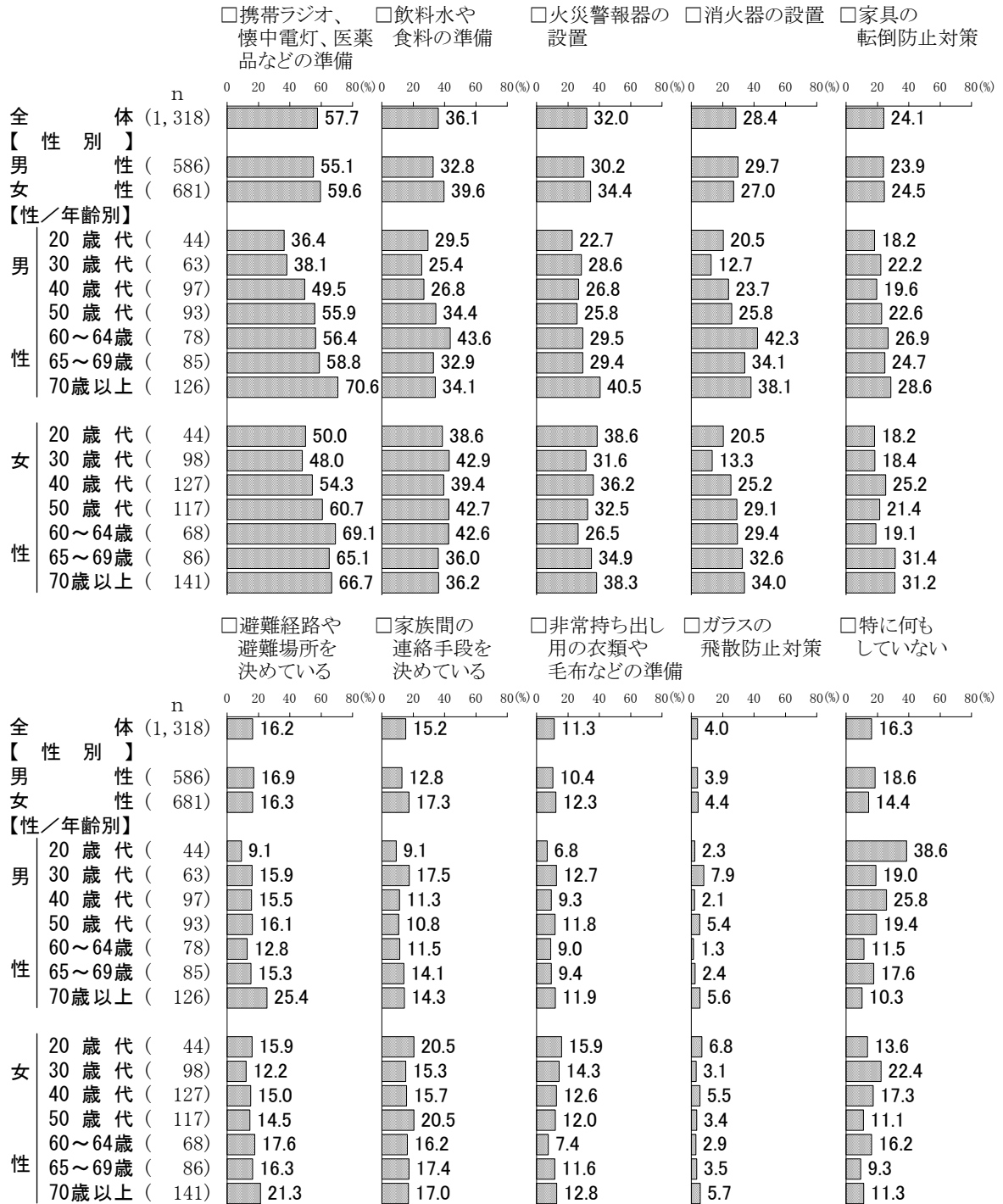
[n=1,318]

1 消火器の設置	28.4%	7 非常持ち出し用の衣類や毛布などの準備	11.3%
2 火災警報器の設置	32.0	8 避難経路や避難場所を決めている	16.2
3 家具の転倒防止対策	24.1	9 家族間の連絡手段を決めている	15.2
4 ガラスの飛散防止対策	4.0	10 その他	0.3
5 飲料水や食料の準備	36.1	11 特に何もしていない	16.3
6 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備	57.7	(無回答)	1.5



全体で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」(57.7%)が6割近くで最も高く、次いで「飲料水や食料の準備」(36.1%)、「火災警報器の設置」(32.0%)、「消火器の設置」(28.4%)、「家具の転倒防止対策」(24.1%)の順となっている。

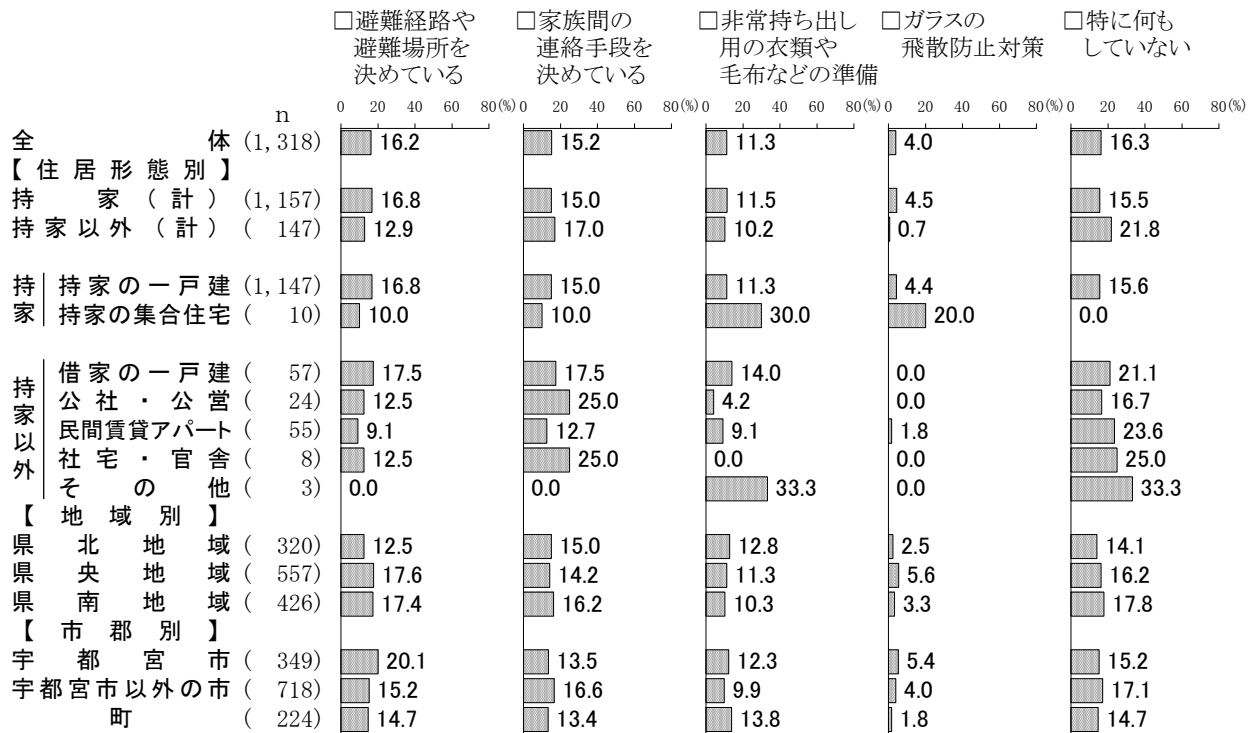
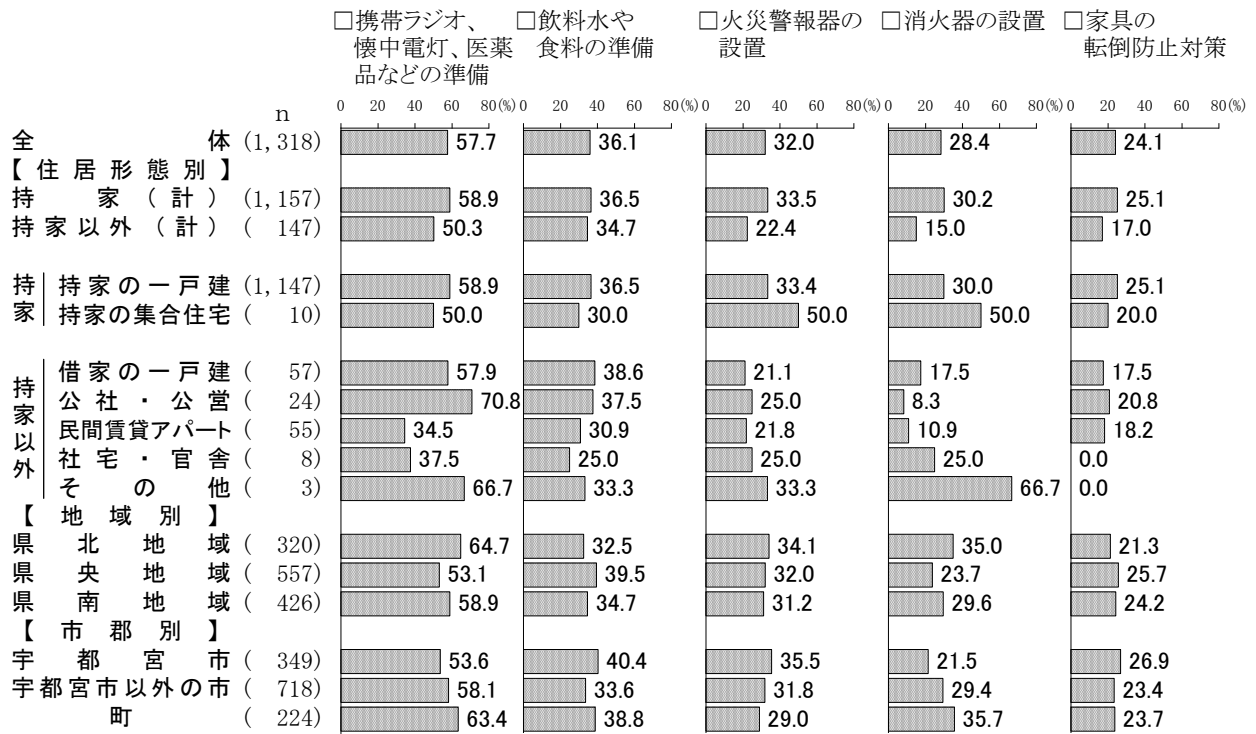
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「飲料水や食料の準備」では〈女性〉(39.6%)が〈男性〉(32.8%)より6.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈男性70歳以上〉が70.6%と高く、「火災警報器の設置」でも〈男性70歳以上〉が40.5%と高くなっている。「消火器の設置」では〈男性60~64歳〉が42.3%と高くなっている。「避難経路や避難場所を決めている」では〈男性70歳以上〉が25.4%と高くなっている。「特に何もしていない」では〈男性20歳代〉が38.6%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市郡別]



住居形態別で見ると、「消火器の設置」では〈持家(計)〉(30.2%)が〈持家以外(計)〉(15.0%)より15.2ポイント高く、「火災警報器の設置」では〈持家(計)〉(33.5%)が〈持家以外(計)〉(22.4%)より11.1ポイント高くなっている。

地域別で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈県北地域〉が64.7%と高く、「消火器の設置」でも〈県北地域〉が35.0%と高くなっている。

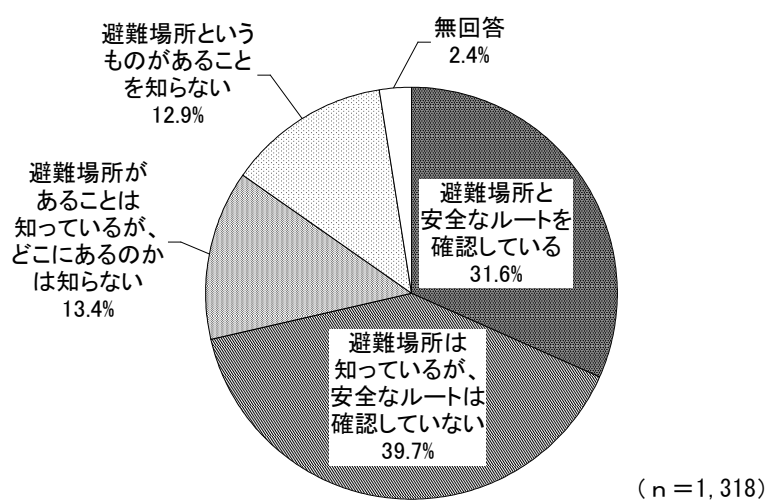
市郡別で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈町〉が63.4%と高く、「消火器の設置」でも〈町〉が35.7%と高くなっている。

(3) 地域の指定避難場所等の認知度

問25 あなたは、お住まいの地域の指定避難場所等についてどの程度知っていますか。
次の中から1つ選んでください。

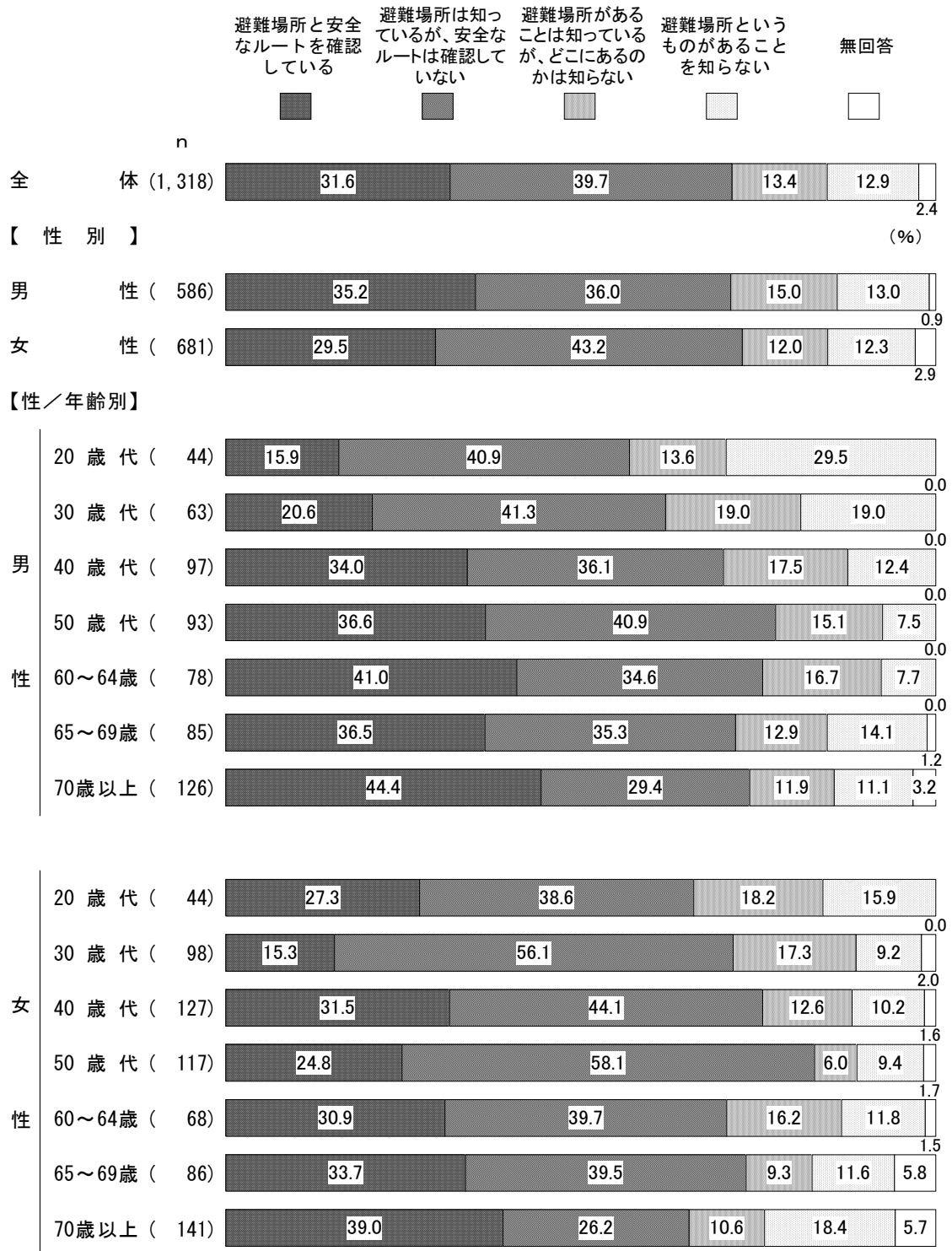
[n=1,318]

1 避難場所と安全なルートを確認している	31.6%
2 避難場所は知っているが、安全なルートは確認していない	39.7
3 避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない	13.4
4 避難場所というものがあることを知らない	12.9
(無回答)	2.4



全体で見ると、「避難場所と安全なルートを確認している」(31.6%)が3割を超えている。「避難場所は知っているが、安全なルートは確認していない」(39.7%)は4割で、「避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない」(13.4%)と「避難場所というものがあることを知らない」(12.9%)はともに1割を超えている。

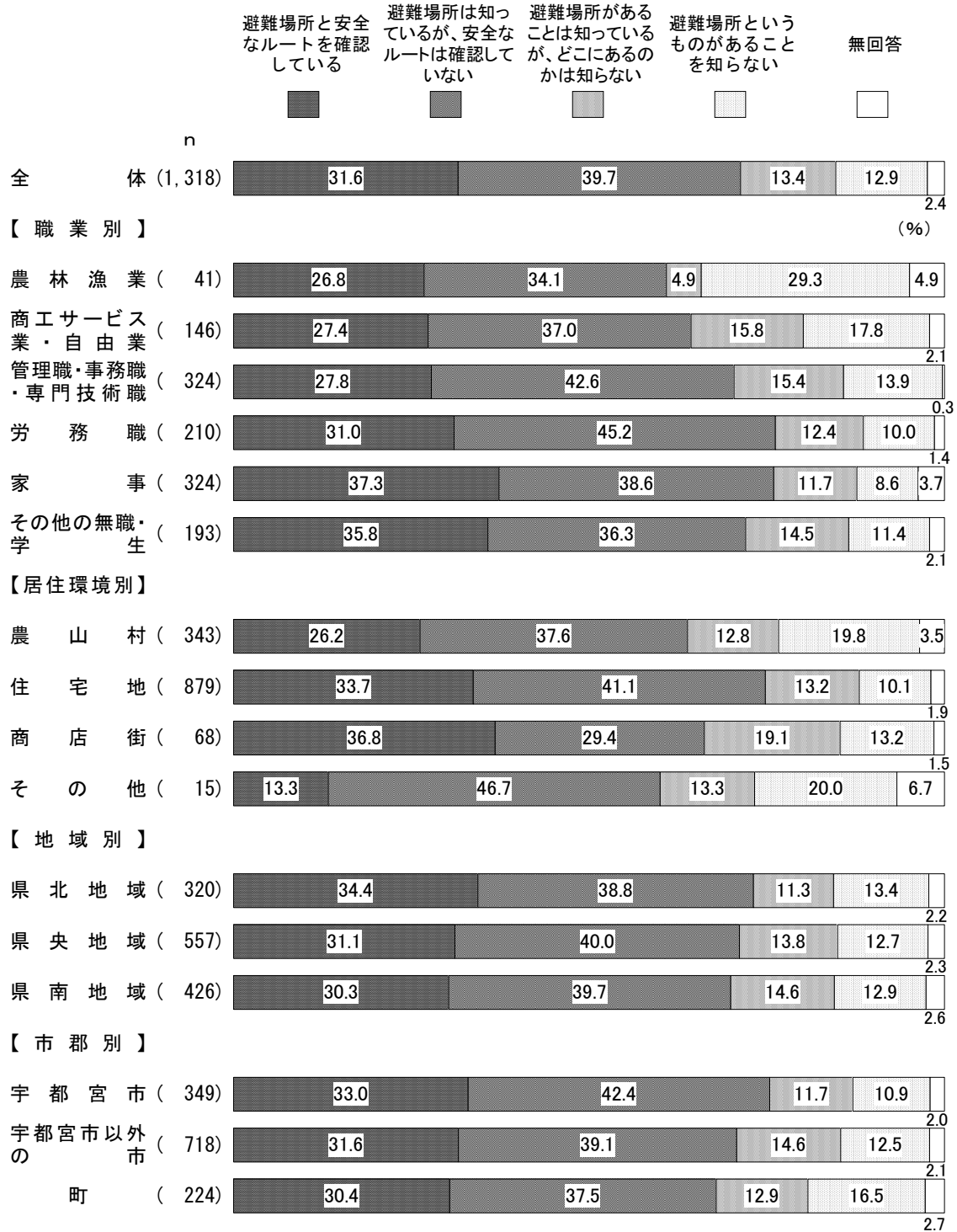
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「避難場所と安全なルートを確認している」では〈男性〉(35.2%)が〈女性〉(29.5%)より5.7ポイント高くなっている。「避難場所は知っているが、安全なルートは確認していない」では〈女性〉(43.2%)が〈男性〉(36.0%)より7.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「避難場所と安全なルートを確認している」では〈男性70歳以上〉が44.4%、〈男性60～64歳〉が41.0%と高くなっている。「避難場所というものがあることを知らない」では〈男性20歳代〉が29.5%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「避難場所と安全なルートを確認している」では〈家事〉が37.3%、〈その他の無職・学生〉が35.8%と高くなっている。「避難場所というものがあることを知らない」では〈農林漁業〉が29.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、「避難場所と安全なルートを確認している」では〈商店街〉が36.8%と高くなっている。

地域別でみると、「避難場所と安全なルートを確認している」では〈県北地域〉が34.4%と高くなっている。

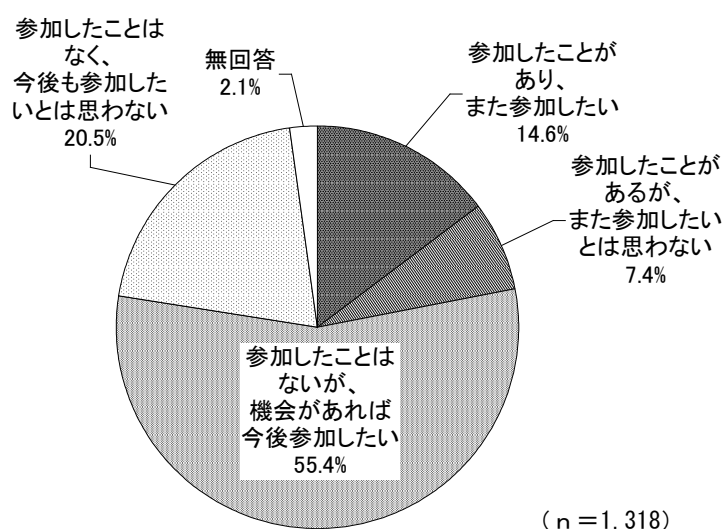
市郡別でみると、「避難場所というものがあることを知らない」では〈町〉が16.5%と高くなっている。

(4) 防災訓練の参加状況

問26 あなたは、県や市町、自治会等が行っている防災訓練に参加したことがありますか。
次の中から1つ選んでください。

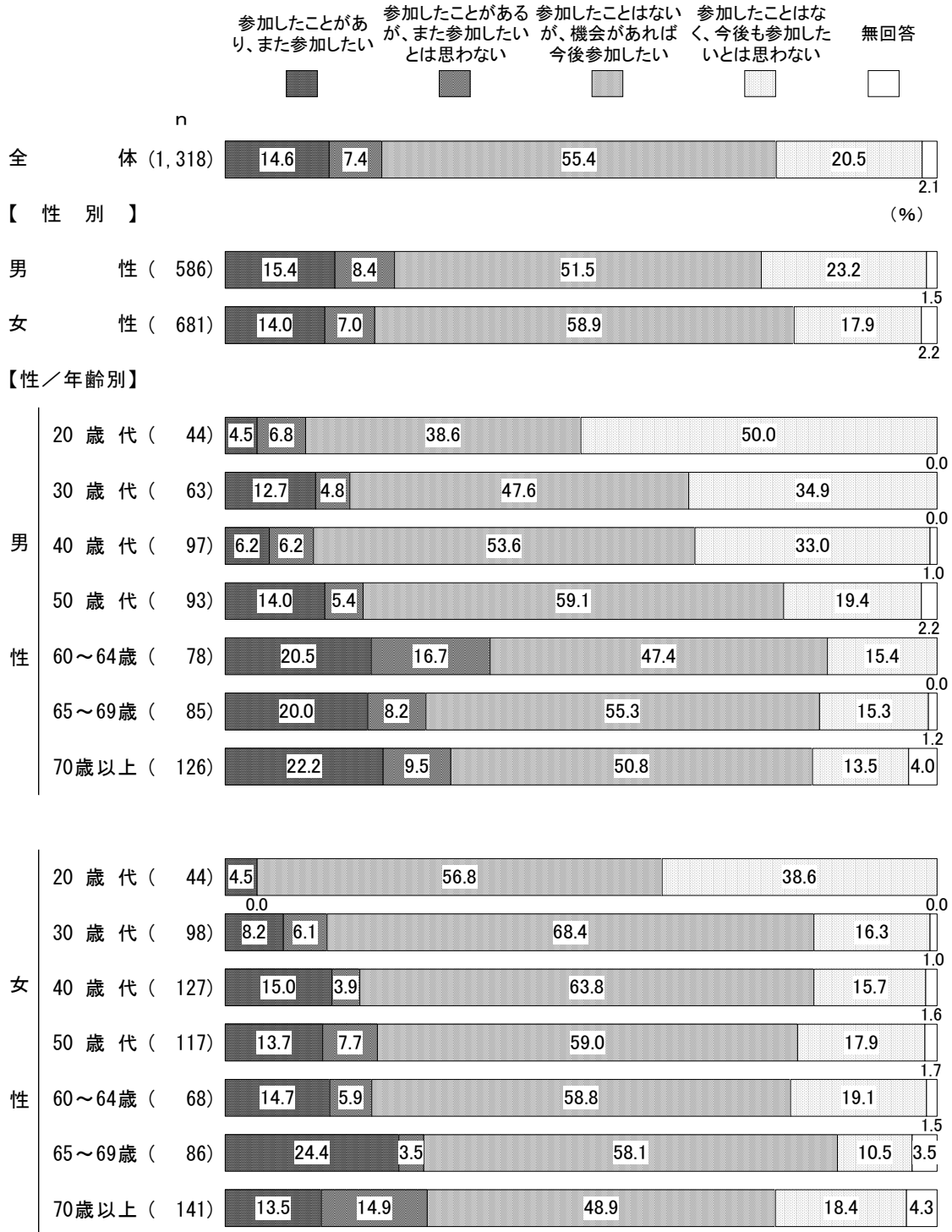
[n=1,318]

1	参加したことがあります、また参加したい	14.6%
2	参加したことがあるが、また参加したいとは思わない	7.4
3	参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	55.4
4	参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	20.5
	(無回答)	2.1



全体で見ると、「参加したことがあります、また参加したい」(14.6%)が1割半ばで、「参加したことがあるが、また参加したいとは思わない」(7.4%)が1割近くとなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」(55.4%)は5割半ばで、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」(20.5%)はほぼ2割となっている。

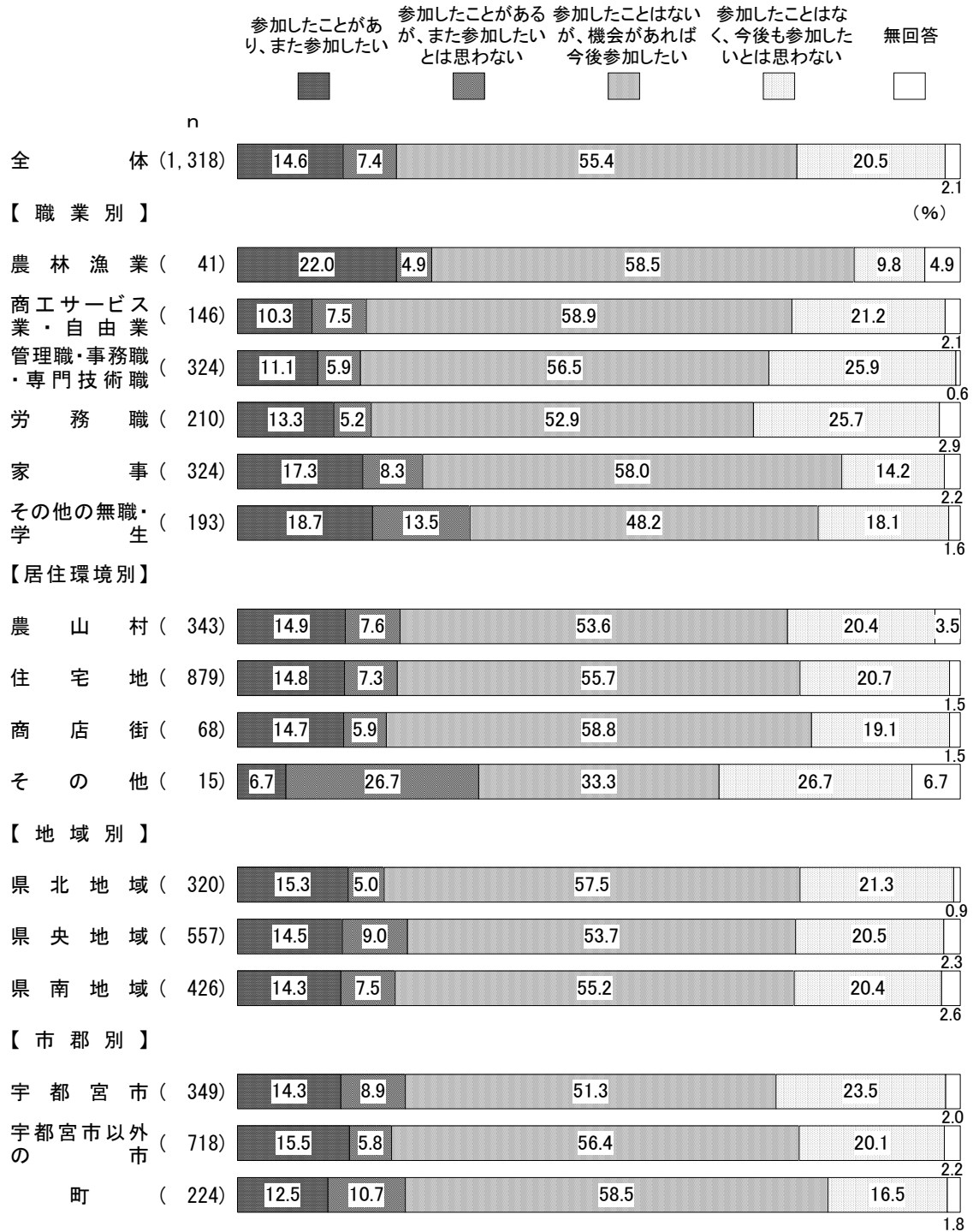
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性〉(58.9%)が〈男性〉(51.5%)より7.4ポイント高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈男性〉(23.2%)が〈女性〉(17.9%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈女性65～69歳〉が24.4%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈男性20歳代〉が50.0%、〈女性20歳代〉が38.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈農林漁業〉が22.0%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が25.9%、〈労務職〉が25.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、〈農山村〉、〈住宅地〉、〈商店街〉の間で大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市郡別でみると、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈宇都宮市〉が23.5%と高くなっている。

(5) 自主防災組織の認知度

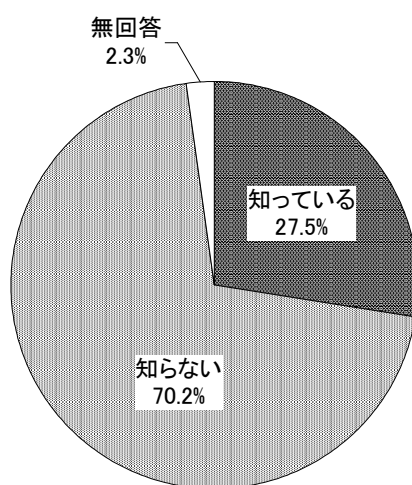
問27 あなたは、自主防災組織（※）について知っていますか。

次の中から1つ選んでください。

※ 「自主防災組織」とは、自治会・町内会などを母体とした、地域住民が防災活動をする組織のことです。

[n=1,318]

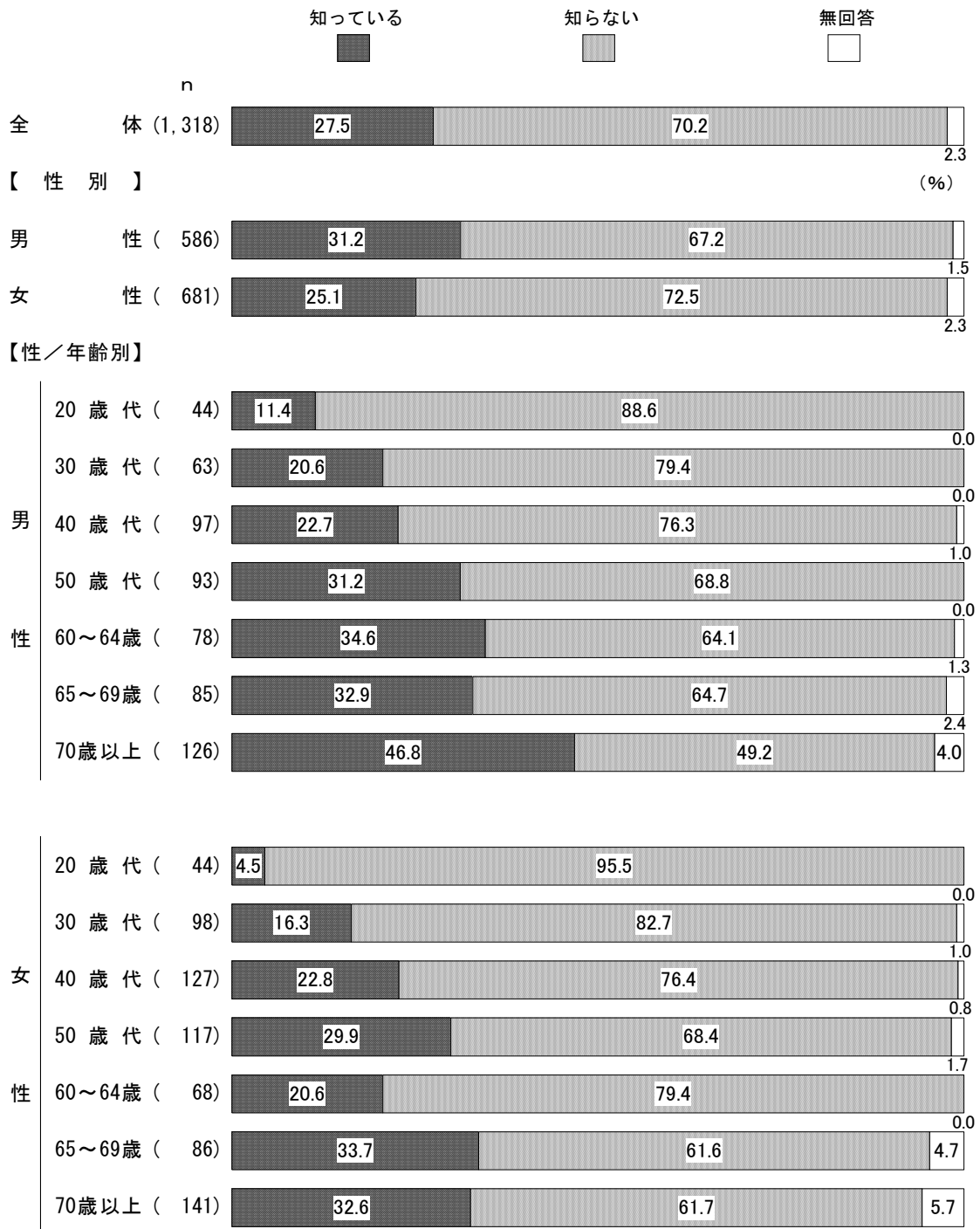
1 知っている	27.5%	2 知らない (無回答)	70.2% 2.3
---------	-------	-----------------	--------------



(n=1,318)

全体で見ると、「知っている」(27.5%)が3割近くで、「知らない」(70.2%)が7割となっている。

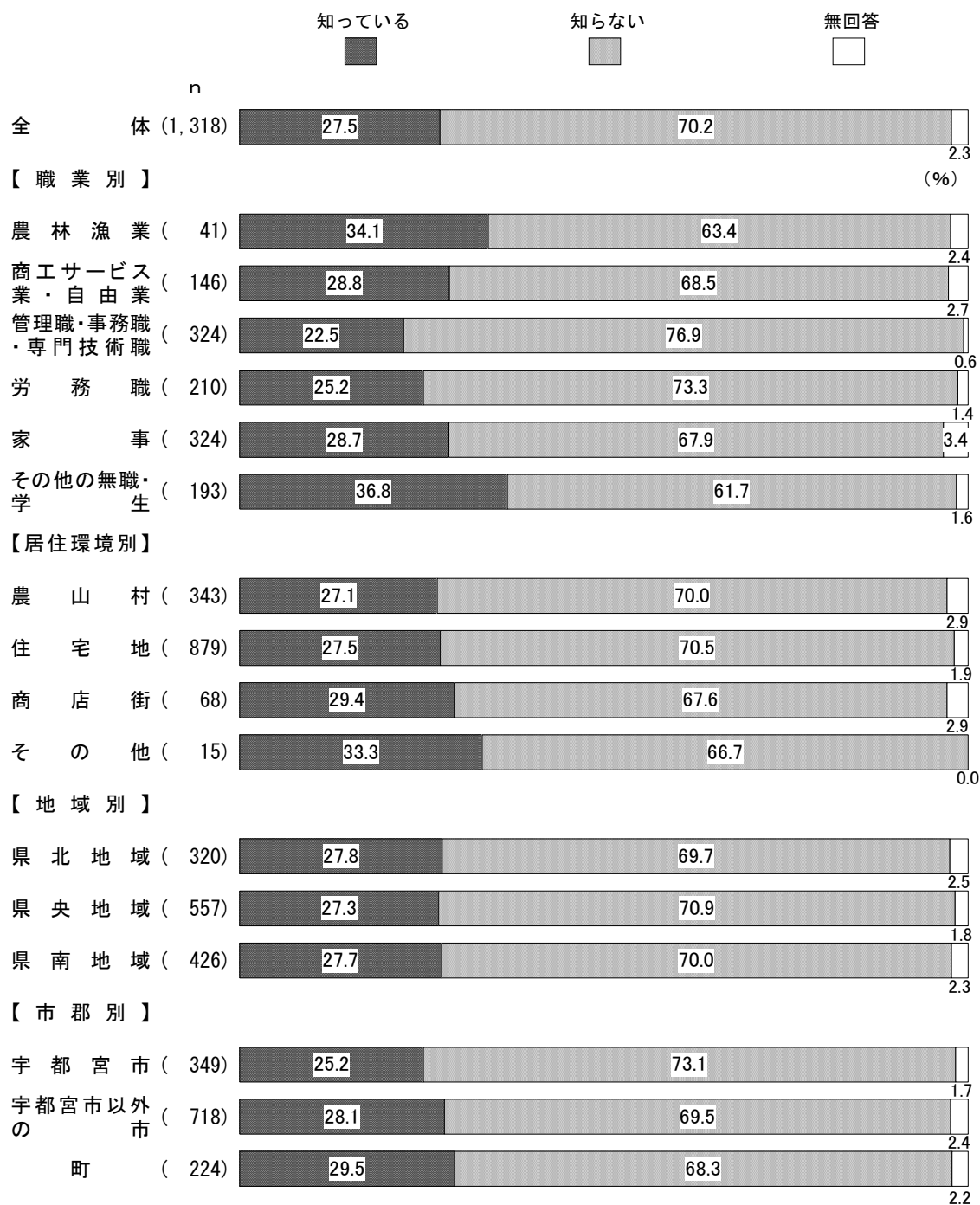
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「知っている」では〈男性〉(31.2%)が〈女性〉(25.1%)より6.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈男性70歳以上〉が46.8%と高くなっている。「知らない」では〈女性20歳代〉が95.5%、〈男性20歳代〉が88.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「知っている」では〈その他の無職・学生〉が36.8%、〈農林漁業〉が34.1%と高くなっている。「知らない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が76.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、〈農山村〉、〈住宅地〉、〈商店街〉の間で大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市郡別でみると、「知っている」では〈町〉が29.5%、〈宇都宮市以外の市〉が28.1%となっており、〈宇都宮市〉(25.2%)に比べて高くなっている。

(5-1) 自主防災組織の活動への参加状況

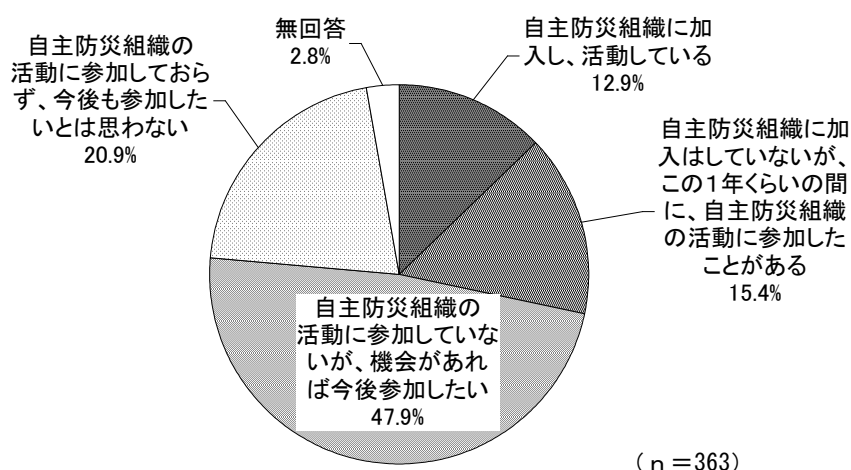
(問27で選択肢「知っている」を選んだ方のみお答えください)

問27-1 あなたは、自主防災組織の活動に参加していますか。

次の中から1つ選んでください。

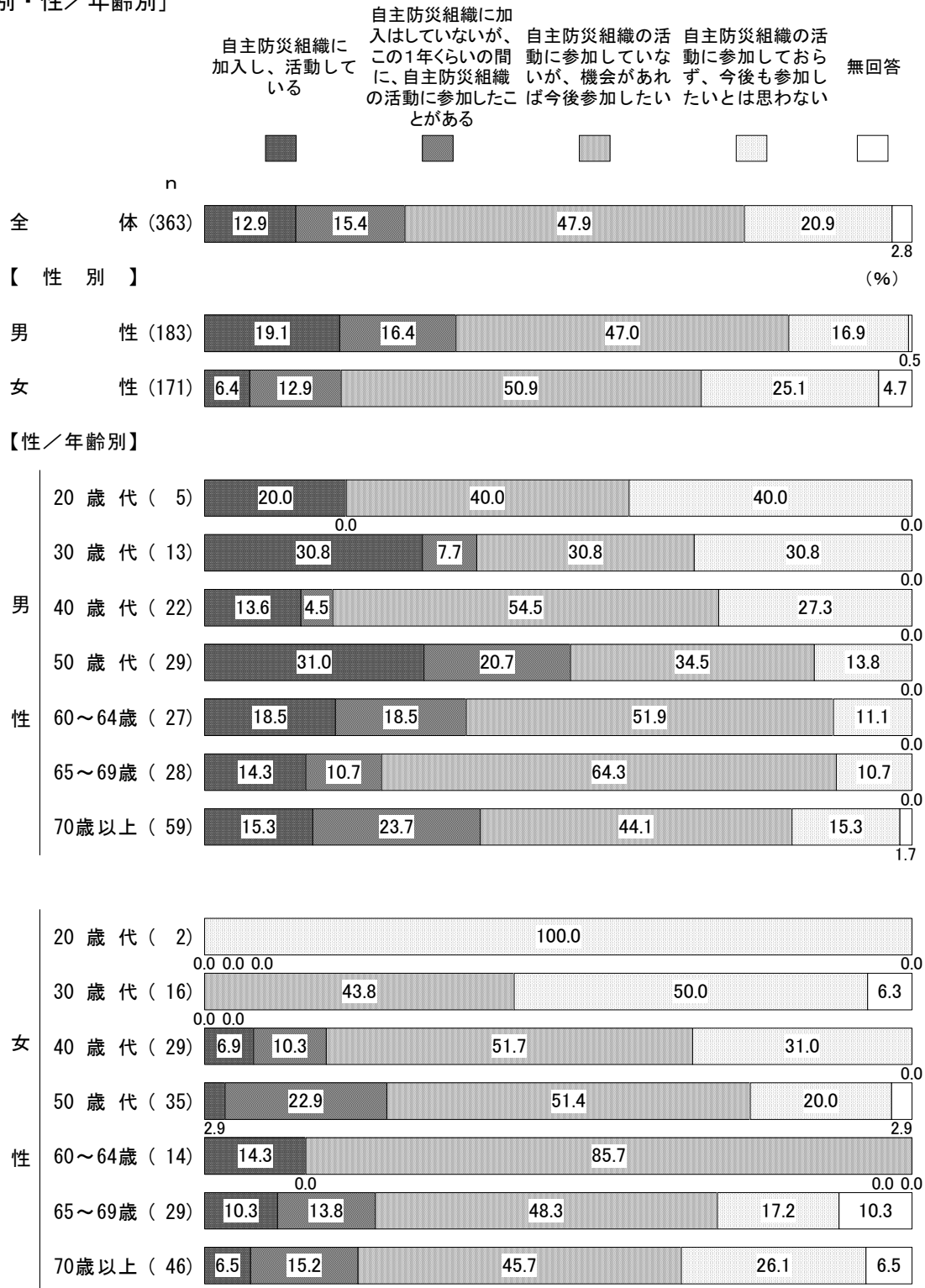
[n=363]

1	自主防災組織に加入し、活動している	12.9%
2	自主防災組織に加入はしていないが、この1年くらいの間に、自主防災組織の活動に参加したことがある	15.4
3	自主防災組織の活動に参加していないが、機会があれば今後参加したい	47.9
4	自主防災組織の活動に参加しておらず、今後も参加したいとは思わない	20.9
	(無回答)	2.8



全体でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」(12.9%)が1割を超え、「自主防災組織に加入はしていないが、この1年くらいの間に、自主防災組織の活動に参加したことがある」(15.4%)が1割半ばとなっている。「自主防災組織の活動に参加していないが、機会があれば今後参加したい」(47.9%)は5割近くで、「自主防災組織の活動に参加しておらず、今後も参加したいとは思わない」(20.9%)はほぼ2割となっている。

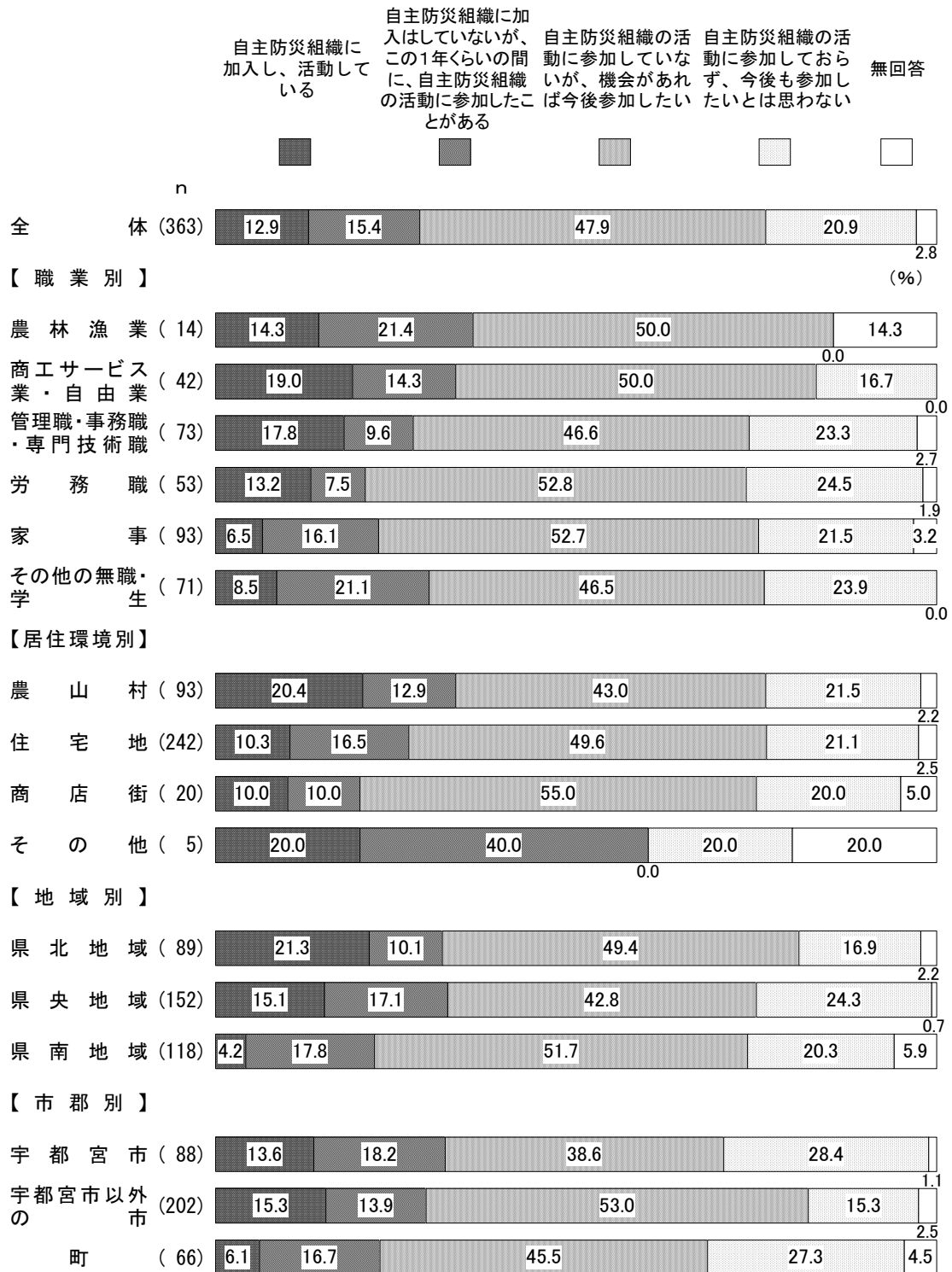
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈男性〉(19.1%)が〈女性〉(6.4%)より12.7ポイント高くなっている。「自主防災組織の活動に参加しておらず、今後も参加したいとは思わない」では〈女性〉(25.1%)が〈男性〉(16.9%)より8.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈男性50歳代〉が31.0%、〈男性30歳代〉が30.8%と高くなっている。「自主防災組織に加入はしていないが、この1年くらいの間に、自主防災組織の活動に参加したことがある」では〈男性70歳以上〉が23.7%、〈女性50歳代〉が22.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈商工サービス業・自由業〉が19.0%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が17.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈農山村〉が20.4%と高くなっている。

地域別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈県北地域〉が21.3%と高くなっている。

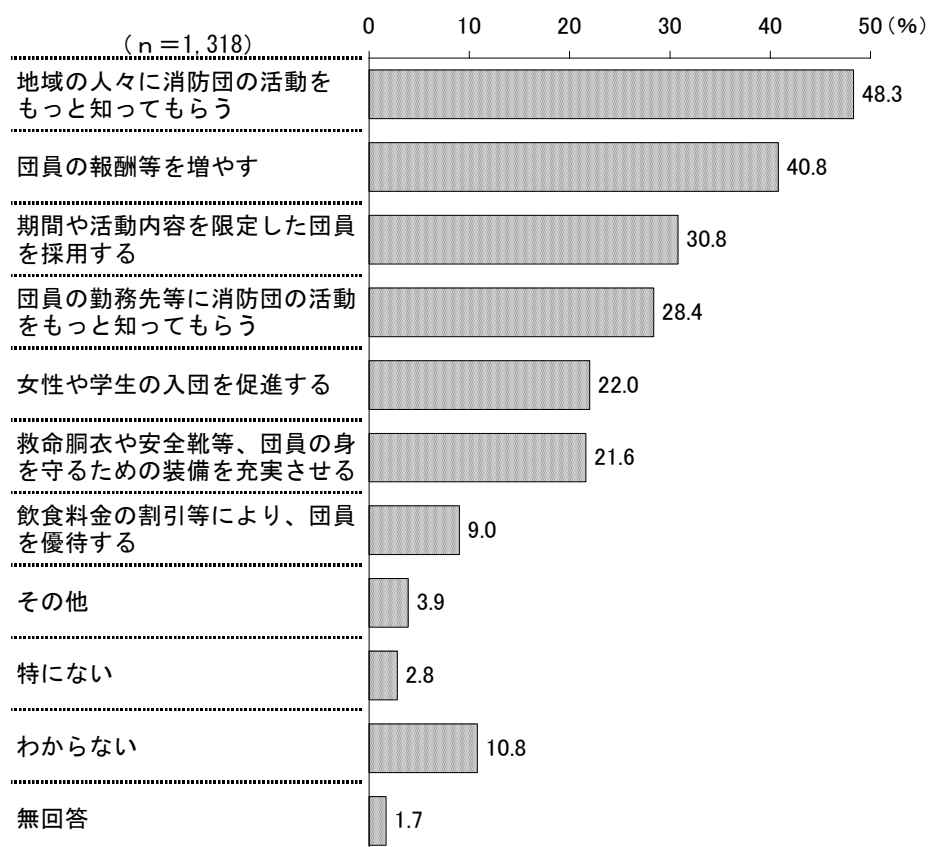
市郡別でみると、「自主防災組織に加入し、活動している」では〈宇都宮市以外の市〉が15.3%、〈宇都宮市〉が13.6%となっており、〈町〉(6.1%)に比べて高くなっている。

(6) 消防団員を増やすための取組

問28 消防団員数が年々減少していますが、あなたは、団員を増やすためにはどのような取組が有効だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

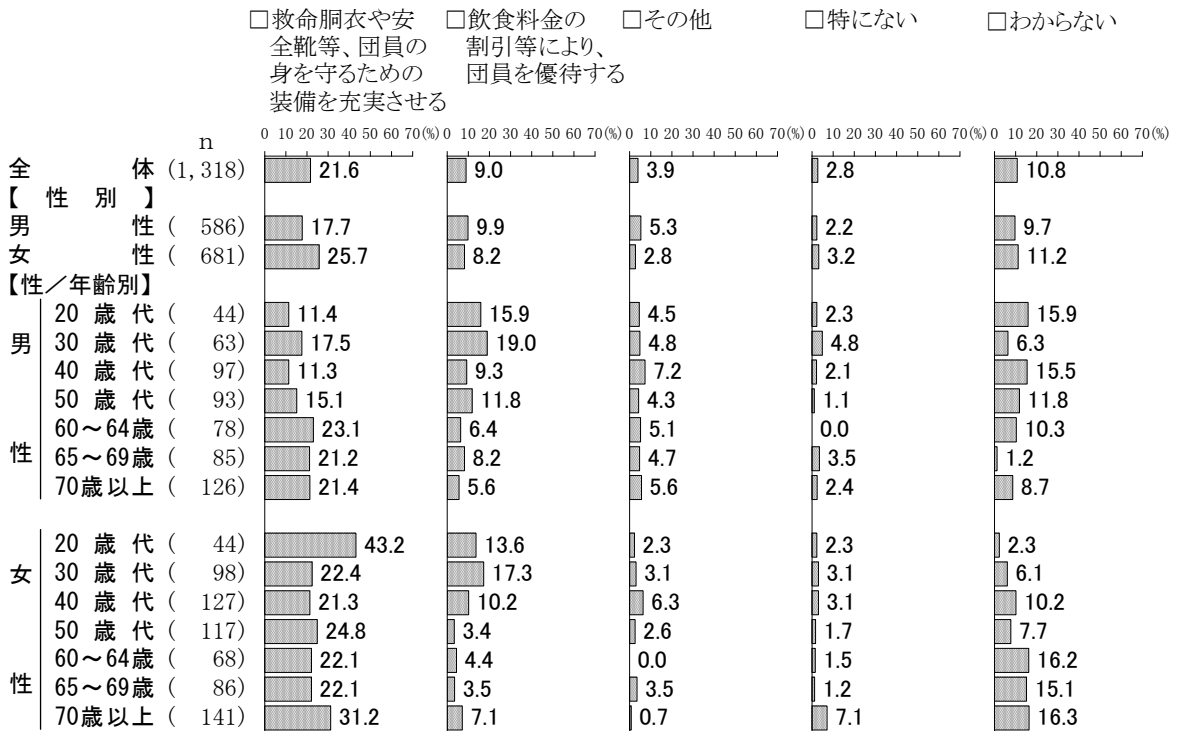
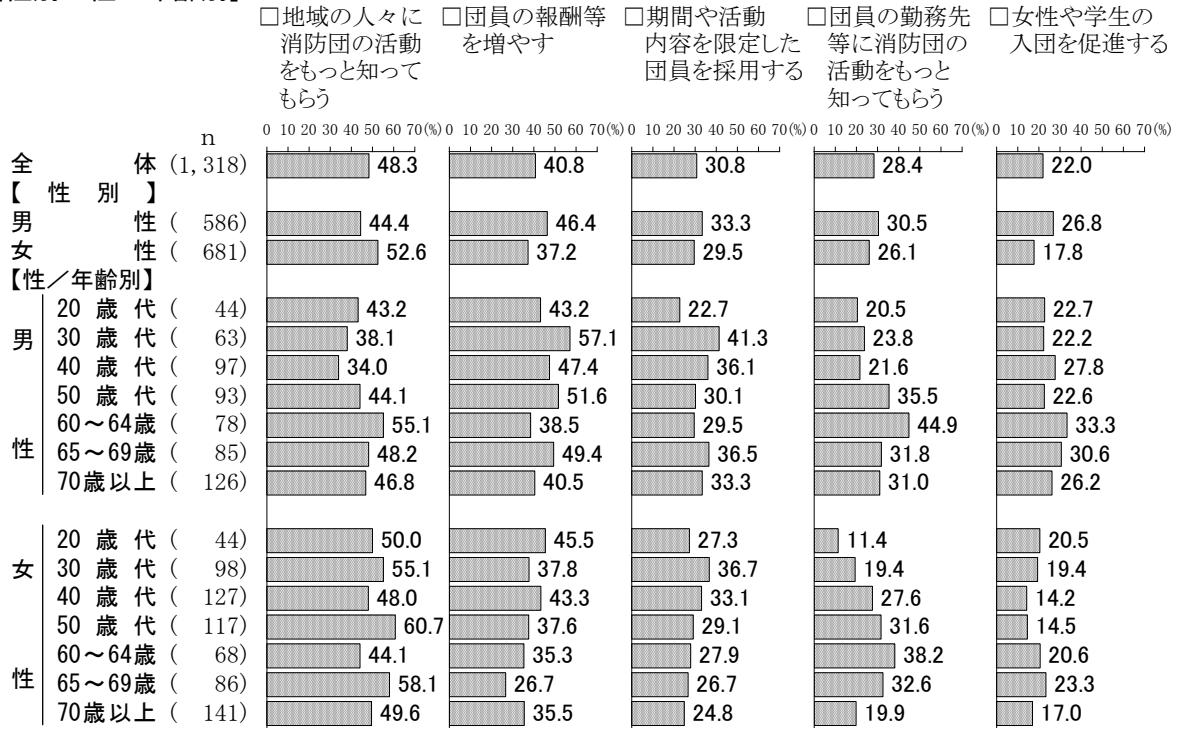
[n=1,318]

1 団員の報酬等を増やす	40.8%
2 救命胴衣や安全靴等、団員の身を守るための装備を充実させる	21.6
3 飲食料金の割引等により、団員を優待する	9.0
4 期間や活動内容を限定した団員を採用する	30.8
5 女性や学生の入団を促進する	22.0
6 地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう	48.3
7 団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう	28.4
8 その他	3.9
9 特にない	2.8
10 わからない	10.8
(無回答)	1.7



全体で見ると、「地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう」(48.3%)が5割近くで最も高く、次いで「団員の報酬等を増やす」(40.8%)、「期間や活動内容を限定した団員を採用する」(30.8%)、「団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう」(28.4%)の順となっている。

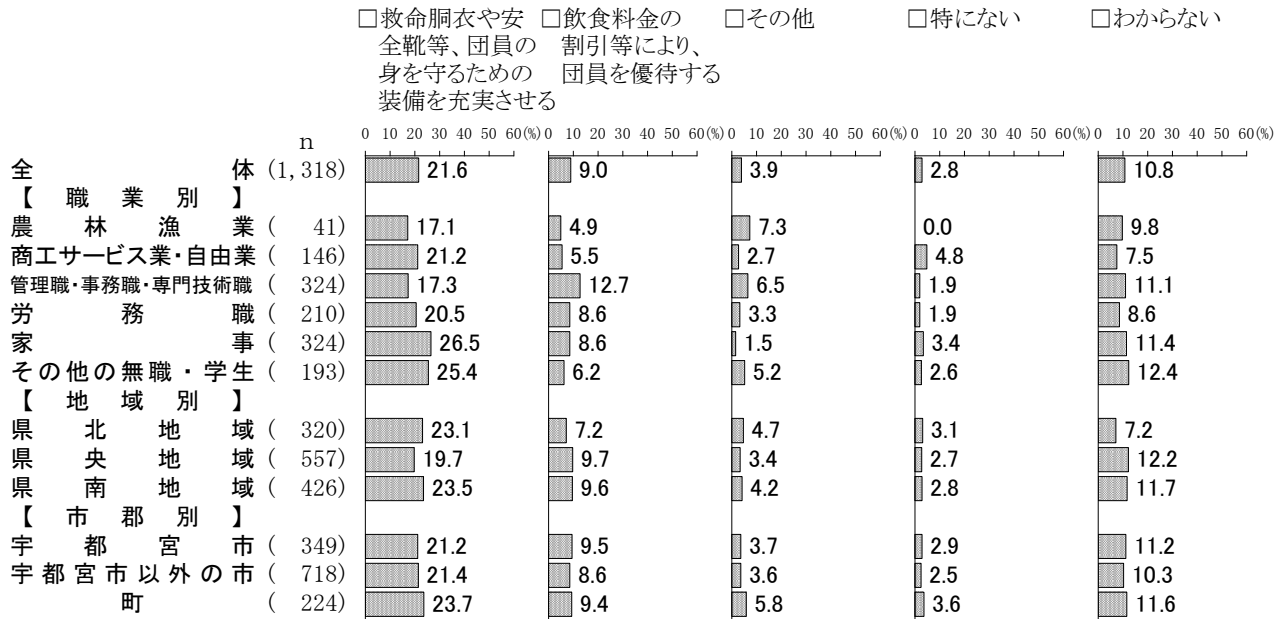
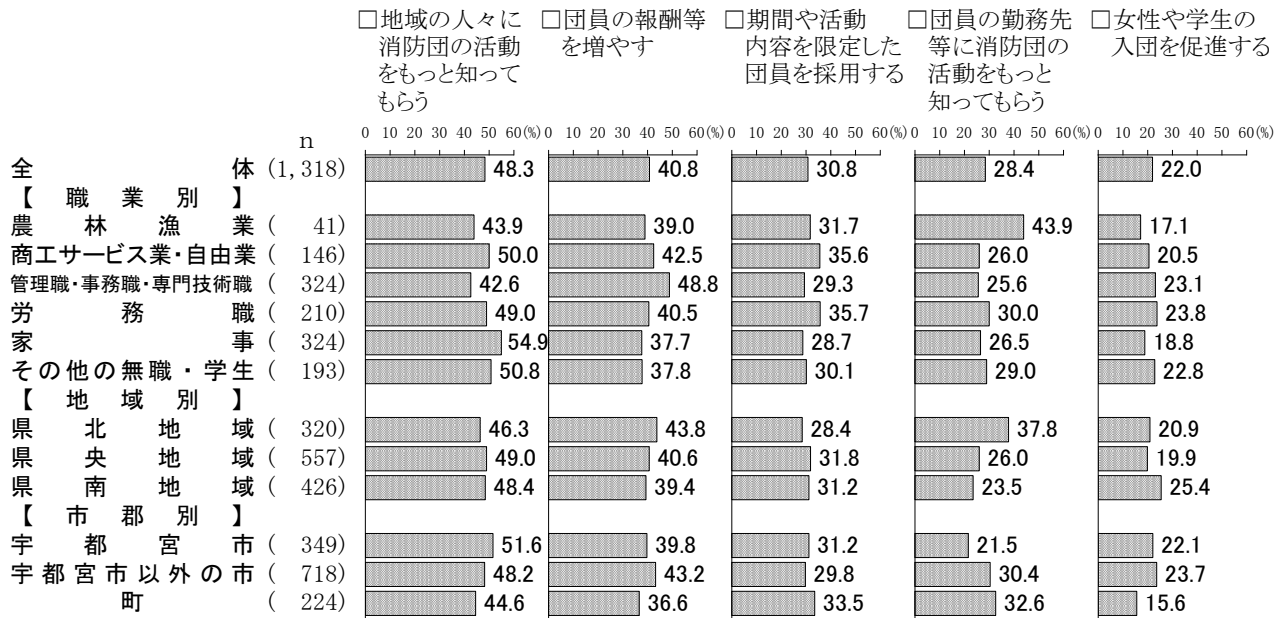
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「団員の報酬等を増やす」では〈男性〉(46.4%)が〈女性〉(37.2%)より9.2ポイント高く、「女性や学生の入団を促進する」では〈男性〉(26.8%)が〈女性〉(17.8%)より9.0ポイント高くなっている。「地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈女性〉(52.6%)が〈男性〉(44.4%)より8.2ポイント高く、「救命胴衣や安全靴等、団員の身を守るための装備を充実させる」では〈女性〉(25.7%)が〈男性〉(17.7%)より8.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈女性50歳代〉が60.7%と高くなっている。「団員の報酬等を増やす」では〈男性30歳代〉が57.1%と高く、「団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈男性60~64歳〉が44.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈家事〉が54.9%と高くなっている。「団員の報酬等を増やす」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が48.8%と高く、「団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈農林漁業〉が43.9%と高くなっている。

地域別でみると、「団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈県北地域〉が37.8%と高くなっている。

市郡別でみると、「地域の人々に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈宇都宮市〉が51.6%と高くなっている。「団員の報酬等を増やす」では〈宇都宮市以外の市〉が43.2%と高くなっている。「団員の勤務先等に消防団の活動をもっと知ってもらう」では〈町〉が32.6%と高くなっている。